

でもね

せんせい

2023年3月号

内藤アカデミー
学童保育教室

算数の文章問題について

飯島 文晴

3年生の 絵日記より 「お店屋さん」



<3年 男子>



<3年 女子>

小学生の算数の勉強を見ていて、文章問題が苦手な生徒が多いと思うことがあります。文章を読んで尋ねられたことに答える、ただそれだけのことですが、自分で文章を黙読し何をしたらよいか分からず固まってしまう生徒を見かけることがあります。興味深いことに、一緒に声に出して読むと「わかった。」という反応を見せる生徒もいます。もちろん、分からないままの生徒もいますが…。小学6年生クラスと算数スーパークラスでは、文章問題に強くなることを目的の一つにしています。算数の文章問題の苦手を克服するためにどんなことが必要なのか、私なりの考えをお話ししようと思います。

文章問題は、まず「文章を図や表にしてイメージする」ことが大切です。簡単な問題ははっきりとイメージがわかなくても何となく解けてしまいます。例えば、

「みかんが3つのったお皿が5つあります。みかんは全部でいくつありますか。」(2年)

といった問題は多くの生徒が難なくできると思います。しかし、

「5本の木が3mの間かくで植えられています。端から端まで何mですか。」(4年)は多くの生徒が間違えてします。図を描いてみればすぐにわかりますが、木と木の間の3mの間かくは、木の本数の5か所あるのではなく4か所なので、 $3 \times 4 = 12$ (m)が正解ですね。文章を読んで手を動かして、絵を描いてイメージすることはとても大切です。

次に「はのがも」を注意して読むことが大切です。

「犬が8匹います。犬はねこよりも3匹多いです。ねこは何匹ですか。」(1年)などは中学校で方程式を学習すれば「犬=ネコ+3」の考えでスッと理解できるかもしれませんが、苦手な生徒は「犬はねこよりも3匹多い」というところを何度も読み、正しく理解する必要があります。ただ単に出てきた数字だけを追いかけるのではなく、ひらがな1文字にも注意して読むことも大切です。

また、そもそも文章をきちんと読んでいない場合もとても多くあります。このケースでは、声に出して問題を読んでみると「分かった。」と答えをだせることが多いです。しかし、それでもわからない場合には、一つ一つ粘り強く答えを導くサポートが必要になります。この場合、少し前の学習内容から分からなくなっているのを、どこでつまづいているのかじっくり時間をかけて見つけて解決しなければなりません。さらに、文章が長くなっても1文ずつしっかり理解してから次の文へ行くことを心掛けることも大切です。



<3年 男子>



<3年 男子>



<3年 女子>



<3年 男子>

バーッと一気に最後まで読んで「分からない。」とあきらめてしまうケースは少なくありません。特に文章問題が苦手な生徒は、少しずつ読んで、少しずつ状況を理解していくことで、できるようになることもあります。

算数では、小学5年生で習う「単位量」の考え方がとても大切だと思います。この学習から「速さ」や「割合」が始まり、よくわからなくなってしまうと算数が苦手になってしまう生徒が多いからです。やっぱりここでも文章問題です。中学校からの数学の学習にも大きく影響します。「8分で720m進むと分速何mですか。」という問題も「8個で720円。1個いくらですか。」という問題もどちらも「1」あたりの大きさを尋ねているので同じ問題だと思うのですが、算数が苦手な生徒には同じには見えなようです。そして、今までに出てこなかった5年生から始まる「小さい数÷大きい数」という立式に悩む生徒も多いです。例えば「36個のアメを9人で分けます。1人何個ですか。」と今までわり算の文章問題では、大きい数がいつも「割られる数」でした。文章問題で出てきた数字の大きい方の数を何も考えずに左に書いてわり算の立式をしていた生徒は、割合を学習して混乱してしまいます。算数の文章問題の苦手克服について述べさせていただきました。こうしてみると、口で言うほど簡単ではなく、克服にはじっくり時間をかける必要があるなど感じました。それでも、内藤アカデミーの小学生クラスでは、上に述べたことをじっくり学習し、ほとんどの生徒が算数の文章問題の苦手を克服することができています。参考にし



<3年 男子>



<3年 男子>

て頂きまして、今後のみなさまの御家庭での学習活動の一助となれば幸いです。

2022年度 日本漢字能力検定

2月18日(土)、日本漢字能力検定を、内藤アカデミーを準会場として実施しました。合格者は68名で、昨年度の41名から大きく増えました。級別の合格者数は次の通りです。5級:4名(小5:1名、小6:3名)、6級:16名(小5)、7級:8名(小4)、8級:11名(小3)、9級:14名(小2)、10級:15名(小1)。満点合格は、9級で1名、10級で5名でした。また、家族合格表彰状の対象は9家庭です(昨年度は6家庭)。そして、三冠達成特別表彰(数検・英検・漢検合格)の対象者は小5が6名、小4が5名の11名となりました(昨年度は7名)。各検定とも準会場に登録していますのでアカデミーで受検ができます。



<3年 男子>



<3年 男子>

学童3年生終了式

学童終了おめでとうございます

3月25日(土)午後1時から、学童3年生の終了式を行いました。3年生による特技披露があり、続いてがんばり賞の表彰、「心の花束」とトロフィーの贈呈などを行いました。先輩の放課後スクール生からの、ダンス披露のプレゼントもありました。ゲストのアイシャさんからの歌のプレゼントやグッズの抽選などがあり活気にあふれる会になりました。



<3年 男子>